

令和6年能登半島地震で被災された
皆様に心よりお見舞い申し上げます



医労連統一ストライキを構えて 大幅賃上げ実現

24春闘

24春闘は、様々な課題で大きなチャンスと転換期を迎えた情勢の中でたたかわれています。ケア労働者の大幅賃上げを実現させるための私たちの運動は、診療報酬・介護報酬の改定に「ベースアップ2・5%」という、かつてない、賃上げに特定した改定内容を盛り込みました。コロナ禍において医療崩壊、介護崩壊が現実となり、この国の医療・介護・福祉提供体制の脆弱さの克服を求める世論は高まりました。「政治とカネ」の問題により、与党自民党内の政治腐敗構造が明るみとなり、政治転換を求める国民世論が急激に高まっています。

止まらない物価上昇と円安の中で、労働者の実質賃金は20カ月以上マイナスを続け、世界的にも日本だけ賃金が上がらない状況から、大幅賃上げや全国一律最賃と大幅引き上げを求める声はかつてなく広がっています。

このように私たちと国民共通の切実な要求実現に向けた情勢は切り開かれてきました。しかし情勢の変化だけでは、運動はすすみません。一人ひとりの組合員が、情勢の動きに引き合い、要求の切実さに強い関心を示し、要求実現に確信を持って、いかに主体的に運動に関われるかが、この有利な条件を確実に要求実現に結びつける力となります。

いまして、職場での対話を広げ、自分事として運動に加する仲間を増やし、24春闘を歴史的な要求実現の春闘にしようではありませんか。

大幅賃上げの実現で人員増につなげ、働き続けられるための労働条件の実現を

自公政権が財界と一体となつてすすめてきた新自由主義政策によって、非正規雇用労働者が増大し、労働者性をほく奪されて個人事業主化させられた労働者も増やされ、大企業が空前の利益を上げる一方で、労働者の実質賃金は下がり続ける異常な国にされてしまいました。私たちの掲げる、「だれもが8時間働けばまともな暮らしができる」賃金・労働条件の実現は、憲法で保障された権利であり、当り前でもとある要求です。生計費原則に基づいて、24春闘でも、最賃全国一律1500円以上を掲げ、年齢別ポイント賃金要求と、月額平均4万円以上、時給250円以上の大幅賃上げ要求を求めます。労使対等な立場で労使交渉を行うためには、労働組合の立場を使用者と対等にするために憲法が保障しているストライキ権を活用することは当然のことであり、すべての組合が統一回答指定日翌日に医労連統一ストライキを構えて、交渉で回答を引き上げます。

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

安全・安心の医療・介護を実現する大運動

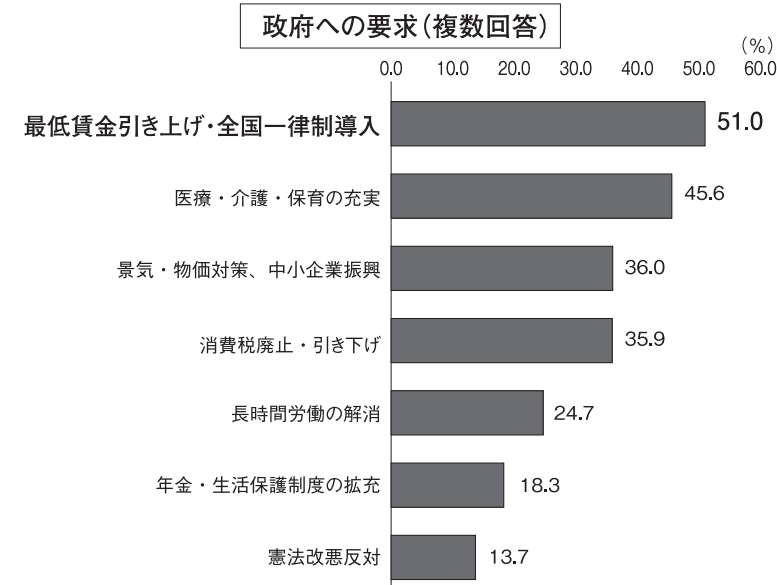
安全・安心の医療・介護を実現する大運動

今回の調査に寄せられた仲間の声
「VOICE!」を一部紹介します。

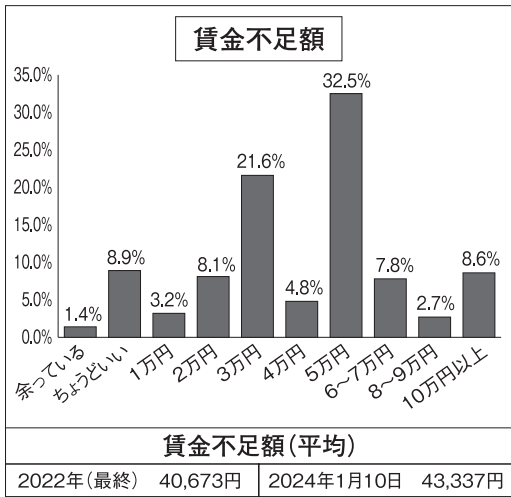
VOICE!

- 物価が高くなり生活水準が低くなってきている。安心して暮らせるくらい、賃金を上げて欲しい。
- 夫婦二人、フルタイムで正職員として働いて、子供二人を育てています。特別贅沢な生活をしている訳ではないが、生活が苦しい。増税、社会保険料の値上げ、海外への投資、海外留学生の優遇等する前に自国民の生活を守って欲しい。
- 男女差別あり。女性が扶養手当もらえない。
- マンパワー不足で看護の質が極端に下がっていることに上層部が気づいていないんじゃないかと不安になる。
- 物価が高すぎる。貯金ができなくなった。子育て支援をもっと充実させてほしい。一時金を増やしてほしい。一人世帯とかでなく共働き世帯でも、子どもの人数。多いとお金足りない。
- まず、賃金を上げないと、人は入らない、辞めていく!
- とにかく人手不足
- プライベートの充実が難しい

「春闘・働くみんなの要求アンケート」中間報告



2023年10月〜2024年1月末日まで実施する「日本医労連2024年春闘・働くみんなの要求アンケート」の調査状況を紹介します。調査は、Googleフォームでの集約も進め、1月10日現在、約2万6千人分の集約となっています。



職場の不満

	正規職員	非正規職員
1位	賃金が安い	
2位	人員が少ない	退職金がない・少ない
3位	一時金が少ない	正規職員との格差

24春闘は大幅賃上げ

24春闘闘争宣言行動



生活実感からくる賃金不足額の平均は、統一要求額の「月額

賃金不足額
昨年より3千円上回る
4万3337円

平均4万円以上」の水準となる4万3337円、昨年比で2664円増です。「5万円」が32.5%と最高値になっています。5万円以上不足しているという声が5割を超えました。

生活が苦しい:「食費」への負担感がトップに

生活実感については、「かなり苦しい」(15.7%)「やや苦しい」(44.3%)あわせて60.0%の人が苦しい生活実感を訴えています。昨年の合計55.5%と比較しても、生活がますます苦しくなっている現状がうかがえます。生活実感の中で、「一番負担に感じている」項目の1位が「食費」、2位が「税・社会保険料」、3位が「住居費」と続いており、物価高騰の影響が家計を圧迫し、食費への負担感が1位となっています。

もう限界 6割が「生活苦しい」

不動の1位は「賃金が安い」

「職場の不満」では、正職員で「賃金が安い」63.8%と半数以上が不満に感じています。次いで「人員が少ない」45.9%、「一時金が少ない」27.7%と続いています。非正規雇用職員でも、「賃金が安い」が52.3%と1位でした。賃上げ要求額も年々上がっており、賃金の大幅引き上げは、ゆずれない切実な要求となっています。

政府要求
1位「最低賃金引き上げ・全国一律制導入」

「政府に対する要求で最も重視するもの」では、2023年に続き、「最低賃金引き上げ・全国一律制導入」が51.0%と1位となりました。前年と比較しても、最低賃金引き上げを求める声は、3%ほど増えており、

半数の人が「誰でも8時間働けばまともな暮らし」をするためには最低賃金の引き上げや地域間格差を解消し、全国一律制導入を求めています。この最低賃金引き上げを求める声は、年々高まってきています。

大幅賃上げの実現をめざして

「VOICE」には、3452人から声が寄せられていました。その中でも、賃上げに関する声が1500件以上で、全体の中でも多数を占めていました。また物価高の苦しさを訴える声も多く、人手不足による負担感についても切実な声が寄せられていました。このような切実な声にこたえるためにも、24春闘では、ストライキ権を強く打ち出しながらたたかいに向けた意思統一をすすめる、大幅賃上げに向けて大いに奮闘しましょう。

1月12日、国民春闘共闘、全労連、東京春闘共闘、千代田春闘共闘は、厚労省前や日本経団連前で、24春闘闘争宣言行動に約500人の参加で取り組みました。

合のバージョンアップで仲間を増やして、労働組合の陣地を広げ、ストライキなどのあらゆる力行使して大幅賃上げを勝ち取ろう」と呼びかけました。

内部留保を賃金にまわせ!

東京丸の内をデモ行進したあとの日本経団連包囲行動では、主催者挨拶で全労連の小畑雅子議長は、実質賃金が低下する中で内部留保が527兆円を超えていることに触

れ、24春闘を「一人ひとりの尊厳を取り戻すたたかい」とし、大幅賃上げや最低賃金1500円の実現を求めて24春闘をたたかい抜くことを訴えました。その後、全体で闘争宣言を確認し、経団連に向かってシュプレヒコールを行いました。



新組合 結成

神奈川県医労連 SYT労働組合

11月17日、神奈川県横浜市鶴見区にある「恩賜財団・済生会横浜市東部病院（横浜市中核病院として高度専門医療を中心に提供する病院）」で、労働組合が結成されました。若い看護師中心に10人以上組織し、職場の要求実現運動と仲間増やしをすすめています。



経過は2023年の7月、病棟内で働く看護師が労働相談として神奈川県医労連を訪れました。「コロナ禍で頑張ってきたのに一時金が減らされた」「実質無給で始業前残業をしている」「人員増と賃上げで職員のモチベーションを上げ離職防止を」等の思いとともに、「我慢も限界。組合つくりたい」との意気込みが出されました。複数回の会合を重ね、労働組合結成と医労連加盟に至りました。

後日、単組役員4人が勇気を持って結成通知書と要求書を院長に手渡しました。年末年始には、2度病院前で朝宣伝も実施。「QRアンケート付組合ニュース」を職員に渡し、受け取りも好調で、既に50人以上からアンケートが寄せられています。また、1月11日に初の団体交渉を行い、労使協議会の設置、組合掲示板や時間外会議室使用などを勝ち取りました。賃上げ、増員、時間管理の要求には隔たりがあるものの、離職防止は双方重点課題として共通認識に。新組合の進撃が堂々とはじまりました。

新組合 結成

神奈川県医労連

徳洲会・湘南大磯病院労働組合

2023年12月2日、神奈川県中郡大磯町にある湘南大磯病院（2023年3月に東海大学から徳洲会に事業転換した一般病院）で労働組合が結成されました。看護師を中心に11人+αからスタートし、職場の要求実現運動と運動して仲間増やしをすすめています。



経過は、神奈川県医労連への労働相談から出発。職場が事業転換して以降、現場労働者からの雇用不安や設備改善等を含め切実な声が職場内で高まっており、自分たちの職場と家族を守るため労働組合をつくる運びとなりました。最初の相談の段階から思いを同じくする職員が結集しています。この組合の特徴は、子育てママが多い組合員構成となっており、結成大会ではお子さんが沢山いる中で行われました。ご家庭の事情も考慮したオンラインでの協議を中心に、限られた時間で工夫を凝らして運動をしています。県医労連の支援方法含め新しい労組活動の在り方が求められています。

結成後に早速要求書を提出し、書面での回答書も受け取りました。ただ、納得できる回答ではなかったため、これから団体交渉を実施することになります。仕事も家庭も組合も大事にする仲間たちと、引き続き連帯を強めていきます。



ポスター

日本医労連は2024年春闘前進を目指すべく今年も「春闘グッズ」として、春闘ポスター、パンフレット、ワッペンを作成しました。

ポスター、パンフレットのデータは、日本医労連ホームページ「宣伝物」のページよりダウンロードできます。ワッペンは個別注文となります。注文書もホームページにアップロードしています。

右QRからもアクセスできます。各組織で積極的にご利用ください。



ワッペン



24春闘宣伝物

パンフレット

医労連の「仲間ふやし」を広げよう

医労連の1000ある単組・支部で運動に、組織拡大に奮闘する「ふやす人」をご紹介します。今回は、京都医労連の今城繁喜さんです。



また、趣味のバイクを通じてオペ室師長とも友達になり、LINEで秋闘の要求やその回答を知らせた結果、



洛西ニュータウン病院労働組合
今城 繁喜 執行委員長

2006年の組合結成時は13人でのスタートで、大学時代からの仲の良い友人達が中心でした。その後、180人まで組合員を増やしました。が、どんどんと退職していき、昨年には66人まで減っていました。

活動に共感して真っ先に洛西ニュータウン病院労組へ移籍してくれました。その師長さんの呼びかけもあり、あつという間に20人が移籍となりました。

医労連は働くみんなの労働条件をよくするために活動しているんだということをしっかりと伝えることが仲間ふやしにつながると思います。

憲法平和 まなば Night! オンラインセミナー

日本医労連は、第5回憲法平和オンラインセミナーを11月30日に開催。東京法律事務所 岸弁護士（きしともひろ）弁護士を講師に、「憲法は実現できる〜最近の憲法訴訟の紹介も含め〜」をテーマに基本的な人権について、行いました。

基本的な人権を規定する憲法第3章「国民の権利及び義務」をあげ、人権を不当に制限や侵害する法律が作られても、憲法98条1項「この憲法は、国の最高法規であつて、その条規に反する法律、命令、詔勅及び国務に関するその他の行為の全部又は一部は、その効力を有しない」によって無効になる。大多数で決めた法律も、一人の人権でも不当に侵害することがあれば、人権が優先されると強調しました。



岸弁護士

いまある権利が失われることを想像し、権利を奪う動きには断固反対していくこと、憲法を根拠に権利をどんどん訴えて実現する努力をすること、それが憲法を実現するために重要なことです。

憲法の人権規定は、「過去の失敗リスト」と述べ、言論統制が悲惨な戦争につながった過去の失敗から「表現の自由」「検閲の禁止」がつけられたと紹介。プライバシー権など、新たに出てきた人権に保障されなくなりました。人権規定があるから何ができるのか。①札幌地裁の違憲判決により立法の動きにつながっている「結婚の自由をすべての人へ」訴訟、②生活保護基準の引き下げ処分を、大阪地裁が実質的な生存権（25条）の侵害だと認めた「いのちのとりで」裁判、③生活の困窮につながる年金の段階的引き下げが25条などを侵害すると提起された年金裁判、の3つの訴訟を紹介。憲法を実現するために重要なことは、悪法に反対するなど、いま認められている権利を奪おうとする動きを阻止すること、「教育を受ける権利」を根拠に高等教育無償化を求めるなど、権利をどんどん訴えて実現する努力をすること、の2点をあげました。



▲次回のチラシ

「言いたい劇場」 小菅りや子



賃上げと人手不足の解消が喫緊の課題 地域医療振興協会労働組合―団体交渉

日本医労連は11月27日、地域医療振興協会と団体交渉を行ないました。交渉には、うわまち病院労組（神奈川）、伊東市民病院労組（静岡）、飯塚市立病院労組（福岡）の仲間と各県医労連代表者、地域医療振興協会労組対策会議担当者合わせて13人が参加しました。

協会本部は、ベースアップなどの賃上げ要求に対し、「規定通りにやっている。賃上げは考えていない」と回答。参加者は、「規定通りすることは当たり前。賃上げを考えるように交渉している。考えていないという回答はおかしい」と回答を正しましたが前進回答はありませんでした。また、コロナ禍でストップしていた業績評価制度の試

行が再開されたことに対し、実施の反対を改めて訴えるとともに、現場でのハラスメントの状況も紹介しながら、評価者の資質についても疑問であるとし、公平な評価は不可能と訴えま

伊東市民病院労組の参加者は、当該労組が行なった職員アンケートの結果を示し、「辞めたいと思っている人が半数以上いる。職員を紹介するように言うが、辞めたいと思う職場を紹介することはできない」と訴えました。そのうえで、人が定着するためには、賃上げと人手不足の解消、なにより今いる職員を大切にすることが喫緊の課題と強調しました。

【パズル解答】1817・18号の答えは「トリリウモン」でした。正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。

【応募方法】①組合(病院)名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を2/1(木)までにご応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。

【応募先】
〒110-0013 台東区入谷1-9-5
「日本医労連教育宣伝局」
FAX: 03-3875-6270
E-mail: n-ask@irouren.or.jp

- ヨコのカギ
- ……点晴を欠く
 - 効能
 - 素人の……野球チーム
 - 墨一色で描いた絵
 - 焼き入れをして鍛えた刃
 - 空海の留学先は?
 - しょうのうの原料は楠。なんと読む?
 - 韓国の有名な即席めん……ラーメン
 - ……はあげぼの
 - 男声の中音域
 - 二つ続けて、ヒグラシの別称
 - 富永愛は……
 - 一面の銀世界です
 - 中がぼ生のステーキ
 - にぎやかな……通り
 - 世界で最も多く売れたアルバム

ザクろスワード
出題▶モロズミ勝

1	2	3	4	5	6
7		8	9		
10		11	12		
13		14		15	
16		17		18	
19		20		21	
22	23		24	25	
26			27		

答 A B C D E F

【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？

■タテのカギ

- 舞台の後ろにある部屋
- 不用品や廃棄物などの再利用
- さるかに合戦で活躍望みや願
- 桜とともに日本の国花
- 声大きくするツツ
- ……歯とは人間の犬歯
- 戦時中は木炭で走った家畜などの放し飼
- ガラスの靴の持ち主
- 宝船の絵を枕の下に入れて見る人もいます
- 竹馬の……
- オペラのことで
- 魚を疑似餌で釣る針
- 歯に……着せぬ発言
- 魚へんに喜と書いてな
- んと読む？

自動車共済で家計の負担見直し

医労連共済だより

団体割引率15%

加入者からのお手紙

自動車共済の団体割引率は2023年10月～2024年9月まで15%となっています。物価高騰で家計の負担が大きくなっています。いま、共済だよりをお読みの皆さん、まずは見直し依頼をしてみてください。安さを実感でき、見直しをした方、自動車共済で驚くほど安い掛金になり、とても喜んでいま

◆補償内容がシンプルで分かりやすく、掛金も安かったのが加入しました。見積りも早く担当者の説明も充分でした。トヨタ・アルファード

◆もらい事故で情けないくらい等級が下がってしまい困っていたところ、自動車共済で驚くほど安い掛金になり、とても喜んでいま

◆思い切って見直しを出したら掛金が安く、同じ等級を引き継げることが決まりました。見直しを希望して良かったです。ホンダ・N-BOX

医療の眼

要求実現はストとともに

NHK朝の連ドラ「プキウギ」では、劇団経営陣が賃金削減と団員の解雇を進めたことに対し、女性劇団員がストライキ（以降、スト）を決行した様子が描かれました。それを半世紀さかのぼった1986年には山梨県甲府市の「雨宮製薬工場」の女工たちが、長時間労働に抗議して日本初のストを決行しました。医療でも、私たちの先輩が1960年に人権闘争として「病院スト」を行い、診療報酬の大幅引き上げ、看護職の全寮制の廃止や通勤の自由など勝ち取りました。

世界でもストがトレンド

昔は凄かったという話ではありません。世界でもストを配置した賃金交渉が広がっています。アメリカの自動車業界では、組合側が4年間で40%の賃上げを求めてストを決行しました。ストをかまえて交渉し、28%の賃上げ回答を引き出しています。みなさん自身の年収で28%賃上げを計算してみてください。欧米の水準が実感できます。アメリカのスト報道を観ていると、ストもイ

賃上げ勝ち取る準備をしよう

ベント感覚かと思えますが、実際は、労組の幹部が職場に入り、丁寧に要求討議を進めて、ストを配置して交渉しています。

日本でもストが続く

もちろん日本でもそうした動きはあります。23春闘では全医労のストが大きく報道もされ、地域や全国でたかう仲間を励ました。その後、西武百貨店やテレビ山口などの労使交渉でもストが行われ、報道も繰り返し行われました。TBSの安住アナも報道番組でストについて

「労働者に認められた権利なので行使してもなんら問題はありせん」と語り話題となりました。

24春闘は、長年にわたる賃金が定昇のみで据え置かれ、一時金の切下げも続き、物価高騰や増税により暮らしの困難が際立つもとの春闘です。

地域の医療・介護も、低賃金のため人員確保ができず、多忙さは増し、人員不足で病棟や施設の維持に困難が生じ得るなど、提供体制に厳しさが増すもとの春闘です。

またコロナ補助金もなくなり、診療報酬も本体改定は1%未満と低水準で、黙っているわけには

医療・介護まもる賃上げ

先日ニュースサイトで日本の高級ホテルの欠陥は「従業員を最賃水準で働かせていること」と指定されていました。最賃水準では求められる徹底したサービス提供が出来ないため、パリのリッツは周辺の賃金最高額の1.5倍の賃金を払っていること紹介しました。

医療・介護は、患者・利用者のいのち・健康を守る大切な仕事で、専門職が働く職場です。

他産業より賃金水準が低く、そのため人員確保ができずに現場が疲弊し、挙句の果てに病院・施設が維持できなくなる状況をつくるわけにはいきません。働き続けられる職場、よりよい医療・介護をめざし、大幅賃上げ・賃金底上げを実現する春闘にしましょう。

内田博之